

## 事務事業評価シート(平成20年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
08106	障害児保育事務	教育委員会	こども係	林 一昭	原 照代
	一次評価年月日	平成 21 年 6 月 18 日	連絡先(内線)	2504	

  

事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分				事業コード	事業名(歳出予算見積書)			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別			0371	保育園運営事務			
		<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別			#N/A				
		章 (コード選択)		2章		安らぎとるおいのある社会				
		節 (コード選択)		1節		地方分権化に積極的に対応する				
	項[基本施策] (コード選択)		212		子育て支援の推進					
	主な取り組み (コード選択)		2121		保育サービスの充実と施設整備					
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他						
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし			

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)(Plan2)

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

集団保育が可能な保育に欠ける障害児で辰野町保育園に通園する児童

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

集団保育が可能な保育に欠ける障害児で辰野町保育園に通園を希望するものを可能な限り受け入れ、集団保育の中で障害児と健常児が共に遊び、学びあうことで、人を思いやる心、情緒の安定など心身共に発達を促す。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 集団保育が可能な保育に欠ける障害児と健常児のための通常保育を行う。(障害児が就学するまでに必要な身辺自立が出来るよう指導する)
- 2 保育士と保護者の連携、外部の専門機関との連携
- 3 加配保育士の効果的な配置
- 4 専門知識を持った相談員の派遣、職員研修への参加

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区 分		単 位	実績値		計画値		最終目標年度	
			19年度	20年度	21年度 (見込み)		22年度 (見込み)	
①	指標名	障害児保育実施保育園数	園	4	6	6		6
	説明	障害児を受け入れしている保育園数	目標値設定の根拠	受け入れ可能な保育園数				
②	指標名							
	説明		目標値設定の根拠					

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区 分		単 位	実績値		計画値		最終目標年度	
			19年度	20年度	21年度 (見込み)		22年度 (見込み)	
①	指標名	入所児童数	人	6	6	9		9
	説明	障害児の年間入所人数	目標値設定の根拠	過去の実績値から推計				
②	指標名							
	説明		目標値設定の根拠					

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

☐ 決算書・予算書等に記載の数字☒ 按分計算による算定

																		平成19年度 決 算	平成20年度 決 算	平成21年度 見込み	平成22年度 見込み																	
○総事業費(コスト概算)																		=①+②	(千円)	24,580	22,996	28,207	28,207															
対前年比																		%		93.6	122.7	100																
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)																			1,584	0	0	0																
B) 一般財源(税金)																			22,996	22,996	28,207	28,207																
①事業費																		(千円)	13,228	11,649	16,831	16,831																
対前年比																		%		88.1	144.5	100																
②人件費の概算																		(千円)	11,352	11,347	11,376	11,376																
対前年比																		%		100	100.3	100																
																		課 長	課長補佐			係 長			一般職員			延べ人数			年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費				
																		H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22					
町職員(正規職員)																		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	0.02	0.02	0.02	0.07	0.07	0.07	0.07	581	576	576	576
臨時職員																		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算表)シート										6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	10,771	10,771	10,800	10,800

## (6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

## (7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

☒ ア. 現状のまま継続する
 ☐ イ. 見直しのうえで継続する
 ☐ ウ. 終期設定
 ☐ エ. 廃止
 ☐ オ. 休止

**〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)**

- ☐ a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
☐ b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
☐ c 効率化を図る(コストを下げる)  
☐ d 縮小する(簡素化する)  
☐ e その他(別事務事業に統合する等)

**〈ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください〉**

時期(年度)

### 事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

### 事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

障害児と健常児との関わりの中で、発達にどれだけの効果が見られるのか、保育士を通じて保護者、専門医師と話し合い見守っていく。

21年度予算見積書への反映 ☐ あり ☐ なし

[反映内容]

## (8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

多様な要望に答える為に重要である。子供に思いやりの心を育てる意味でも大きな意義がある。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- ☒ A. 貢献度 大
 ☐ D. 上位施策なし  
☐ B. 貢献度 中  
☐ C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

☒ ア. 現状維持
 ☐ イ. 見直しのうえで継続する
 ☐ ウ. 終期設定
 ☐ エ. 廃止
 ☐ オ. 休止



☐ 上記 a~e を選択